「東京都中小企業振興ビジョン ～未来の東京を創るＶ戦略～ 」の策定にあたって



都内企業数の９９％を占める中小企業は、革新的な製品やサービスを創り出すとともに、地域の経済を活性化し雇用を守るなど、東京の産業の基盤となる大黒柱として不可欠な存在となっています。

一方で、こうした中小企業は、グローバル化やICT技術の進展により第４次産業革命ともいわれる産業構造の変化に直面するほか、人口減少を背景に人材確保が課題となるなど、経営のあり方を抜本的に見直す必要も生じています。中小企業が未来に向けて輝き続けることのできるよう、経営環境のさまざまな変化などを踏まえながら、都として総合的で計画的なサポートを展開することが重要です。

そこで、これらの中小企業のサポートに向け、中長期的な視点に立ち、その方向性を示すため、経営者をはじめ業界や職場の実情に詳しい団体や研究者による有識者会議を設けて議論を積み重ね、それらを踏まえた「東京都中小企業振興ビジョン」を取りまとめました。

ビジョンでは、中小企業の10年後の目指すべき姿を示し、その実現に向けた様々な施策を５つの戦略のもと進めていくこととしました。経営を安定的に継続するとともに、一層の成長を実現できる支援を充実するほか、これからの産業の担い手となる起業家のスタートアップを力強く後押ししていきたいと考えています。さらには、地域の経済を盛り立て、会社の基礎となる人材が快適に働くしくみづくりにもきめ細かく目配りしました。

このビジョンで掲げる施策を加速させるため、意欲的な高い数値目標も設定しています。今後、中小企業・小規模企業振興条例で定めた理念を踏まえながら、このビジョンを羅針盤に中小企業の振興を全力で進めていく所存です。

今年は、５月の改元を控え、新たな時代の幕を開ける節目の年となります。また、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会も来年と迫ってまいりました。大会の成功はもとより、さらにその先の東京の「稼ぐ力」を強化するため、ビジョンの実現を通じて経済の屋台骨である中小企業の振興、さらには我が国経済を牽引する東京の産業をしっかり盛り立ててまいります。

2019年1月

東京都知事　小池百合子